
プレスリリース

ロンドン、2022年9月5日午前0時1分

2022年は余剰が拡大したが、プラチナ現物市場の逼迫が継続

- 逼迫した現物市場を示し、プラチナのリースレートは過去最高に近い水準を維持
- 強い逆風にもかかわらず、自動車、宝飾品、産業用の各セクターは持ちこたえる
- 2022年の総供給予想は8%減少
- 中国の輸入余剰が増加しているため、プラチナETF保有および取引所在庫は減少

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2022年第2四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2022年の通年予想を修正しました。

自動車、宝飾品、産業用の各セクターは持ちこたえ、また、鉱山供給とリサイクル供給が減少し、ETF保有残高および取引所在庫が減少したにもかかわらず、2022年第2四半期のプラチナ余剰は11トンとなり、2022年余剰予想は30トンに増加しました。

一方で、余剰にもかかわらず、第2四半期を通じて現物市場は逼迫し、その後も続いています。2022年第2四半期は、特定できる需要を大きく上回る中国の極めて好調な輸入が復活し、主にプラチナETFおよび取引所在庫からの大規模な**流失によってカバーされた**。公表されている需給データには反映されないこうした中国の輸入余剰は、プラチナ現物市場を逼迫した。これは、リースレートの高止まりによっても証明されます。リースレートは高止まりし、5月に10%のピークを付けました。これはパンデミック中のピークよりさらに高く、10年平均を大きく超えています。現物市場がこのように逼迫したため、取引所が保有しているプラチナがスポット市場に移動し、中国による輸入量のカバーに寄与しました。

2022年の総供給予想は8%減少

2022年のプラチナ総供給は、前年比8%（19トン）減の234トンと予想されています。2022年第2四半期の鉱山供給は、4%減少しました。2021年の洪水からの回復したロシアによる増産は、他のすべての生産国における減少を相殺しました。第2四半期における問題、および2021年の精錬量を押し上げた半完成在庫の枯渇に伴い、2022年の鉱山供給は前年比7%（13トン）減少するであろう。

2022年第2四半期の使用済み自動車触媒からのプラチナのリサイクルは、前年比20%（3トン）と大きく下落しました。2022年の自動車リサイクルは、15%（7トン）減少すると予想されています。この背景には、半導体不足が継続し、新車生産台数に影響していることがあり、消費者は既に所有している車をより長く使用することを迫られ、それによってスクラップされた自動車触媒の供給が減少しています。

自動車、宝飾品、産業用の各セクターのレジリエンス

2022年第2四半期の自動車需要は、前年比8%（2トン）増加しました。半導体不足は継続していますが、状況は緩和し、前年比で増加していることが、自動車生産台数の増加、特に中国において**大型車（HDV）の後処理システムにおけるプラチナ搭載比率の上昇**、また、軽量ガソリン車におけるパラジウムに代わるプラチナ使用の増加が反映されています。ただし、中国では、当四半期の最初の6週間続いた厳格なロックダウンが自動車生産に影響を落としました。2022年通期については、プラチナの自動車需要は14%（12トン）増加し、94トンになると予想されています。

2022年第2四半期の宝飾品需要は5%（0.8トン）増加しました。新型コロナウイルス感染症対策で需要が減少した中国を除き、大半の市場は成長を続けています。北米および欧州で婚礼が増加したために需要が大幅に増えたことと、プラチナ価格が依然として金価格をかなり下回っていることによって、この傾向は強まりました。2022年のプラチナ宝飾品需要は61トン（2021年比やや増加）と予想されています。

当四半期の工業需要は、石油（+17%、+0.2トン）、医療（+8%、+0.2トン）、その他産業（+16%、+0.7トン）の各セクターで成長が見られ、いずれも全体として2022年に増加すると予想されています。2021年にガラス、化学セクターで見られた生産能力の増強は、今年は繰り返されないため、これらのセクターにおける成長は、2022年の工業需要予想（-15%、-12トン）の全体において目立っていません。

現物フローによって阻害される複雑な投資需要

2022年第2四半期の世界の地金・コイン需要は、前四半期比2トン増加しました。2022年にコロナ禍後の高水準を更新する9トンとなる見込みの北米需要がこれを牽引しました。ただし、日本では、円建プラチナ価格の上昇が、2四半期連続で投資家の間で利益確定の動きをもたらしましたが、前四半期ほどではありませんでした。通年の地金・コイン投資額は、14%（1トン）減少する見通しです。

ETF保有高については、金や銀ETF同様、当四半期はリセッション懸念、金利上昇、商品価格の下落の影響が見られました。ETF保有高は3トン減少しましたが、減少幅は前四半期よりかなり縮小しました。このトレンドを受けて、ETF保有残高は、2022年に減少が続き、合計17トン減少すると予想されています。

一方で、ニューヨーク証券取引所（NYMEX）および東京商品取引所（TOCOM）の倉庫在庫は4トン減少しました。倉庫在庫の減少は、欧米市場から中国への現物フローをサポートし、主要なロシアの精錬所がロンドンのグッド・デリバリーステータスを喪失したことによって、通常の取引使用ができなくなったことを原因とするロシアの精製インゴットの減少を埋め合わせました。取引所在庫は、第2四半期に見られるように、現物市場の逼迫と高いリースレートが年内は続くとは予想されているため、通年で9トン減少すると予想されています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Paul Wilson（ポール・ウィルソン）CEO は以下のように述べています。

「中国のプラチナ輸入が極めて旺盛で、特定できる需要を大幅に上回る現象は、2022年第2四半期に再び観察されたことを背景に、2022年は余剰になることが予想されます。重要なことは、私たちの予測における需要の定義には、地金およびコイン、ETF、取引所在庫以外の投機的なポジションを含まないことです。従って、中国のこうした追加「需要」は私たちが公表する需要データには含まれていません。投機または他需要セグメントかの内訳はまだ明らかになっていませんが、今後12か月間でもっと明確になると予想しています。

「重要なこととして、2022年を通じて予想されるプラチナの高いリースレート（10年ぶりの高水準で、原材料の移動が極めて困難だったコロナ禍のピーク中よりも高い）は、現物市場での不足を明確に示唆しているということです。さらに、公表したデータが示すように、この既に逼迫した市場の背景には、鉱山供給とリサイクル供給の減少があります。

「2022年はかなり強い逆風が吹いているものの、一部の分野、特に自動車、宝飾、産業セクターではプラチナ需要が強く、目先と長期の両面で有望です。グローバルなネットゼロ目標の達成において水素の貢献は欠かせず、それにおけるプラチナの役割が知られるようになり、この分野へのエクスポージャーを探している投資家に選択肢を提供します。欧州におけるロシアからのガス輸入を削減する動き、最近の米国インフレ削減法案の可決により、グリーン水素の必要性がますます高まっています。これは同セクターへの投資にさらなるインセンティブを提供し、プラチナは直接恩恵を受ける立場にあります。」

プラチナ需給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022年予想	2021年/2020年成長率 (%)	2022年予想/2021年成長率 (%)	2021年第2四半期	Q1 2022	Q2 2022
供給									
製錬高	189	155	196	180	26%	-8%	49	39	48
南アフリカ	136	103	146	131	42%	-10%	37	27	36
ジンバブエ	14	14	15	14	8%	-4%	4	4	4
北米	11	10	8	9	-19%	1%	2	2	2
ロシア	22	22	20	20	-7%	-1%	4	5	5
その他	5	6	6	6	3%	-1%	2	2	2
生産者製在庫における増減 (+/-)	+0	-3	-3	+0	N/A	N/A	+1	-1	-1
鉱山からの総供給量	189	153	193	180	26%	-7%	49	39	47
リサイクル									
自動車触媒	66	60	60	53	0%	-11%	16	14	14
自動車触媒	49	45	45	38	1%	-15%	13	10	10
宝飾品	15	13	13	13	0%	-2%	3	3	3
工業	2	2	2	2	0%	4%	1	1	1
総供給量	255	213	253	234	19%	-8%	66	53	61
需要									
自動車	89	75	82	94	10%	14%	20	23	22
自動車触媒	89	75	82	94	10%	14%	20	23	22
ノンロード	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
宝飾品	65	57	61	61	7%	0%	15	15	15
工業	67	63	78	66	24%	-15%	17	16	17
化学	22	19	20	20	4%	-3%	6	4	5
石油	7	3	5	6	58%	7%	1	1	1
電気	4	4	4	4	4%	-12%	1	1	1
ガラス	7	13	23	11	83%	-52%	3	3	3
医療	8	8	8	8	4%	4%	2	2	2
その他	18	16	17	18	10%	4%	4	5	5
投資	38	48	(1)	(18)	N/A	N/A	6	(5)	(4)
地金、コインの増減	8	18	10	9	-43%	-14%	3	2	2
ETF保有高の増減	31	16	(7)	(17)	N/A	N/A	1	(5)	(3)
取引所在庫の増減	(1)	14	(4)	(9)	N/A	N/A	2	(2)	(4)
総需要	260	242	219	203	-9%	-7%	58	48	50
残存量	-4	-30	34	30	N/A	-10%	8	4	11
地上在庫	109**	79	113	143	43%	27%			

出典: Metals Focus 2019 - 2022

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫 3,650 koz (Metals Focus)
- ↑ ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

ENDS-

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル、WPIC) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) (WPIC®) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量(精製済みオンス)の 73%~76%は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31%から 42%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 28%となっています(過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 28%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-1%から 20%を占めています(投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのよ

うに解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。